

甘くて大きい晩生系統「モモ福島20号」の選抜

福島県農業総合センター 果樹研究所 栽培科

1 部門名

果樹－モモ－育種・選抜

2 担当者名

志村浩雄、秋山祐輝

3 要旨

温暖化によりモモの収穫期が前進しているため、品質の良い中～晩生品種の育成が求められている。

そこで、8月中～下旬に収穫できる、大玉で糖度が高く、食味良好な晩生系統「モモ福島20号」を選抜した(図1)。

- (1) 「モモ福島20号」は、「川中島白桃」と同時期で、8月中旬～下旬頃に収穫できる系統である。
- (2) 開花期は、「川中島白桃」よりやや早く、「あかつき」と同時期である。花粉は無い。
- (3) 果形は扁円形で豊満であり、玉ぞろいは良好である。着色は中程度で、果実の大きさは350～450g程度と大きい。果肉は乳白色で、ち密であり、果肉内の色素は微～無で、糖度は17～18度と高く、食味良好な系統である(表1)。
- (4) 日持ち性は、「川中島白桃」と同程度～やや優れる(データ省略)。



図1 「モモ福島20号」の果実

表1 「モモ福島20号」の生育と果実品質

品種	年	開花期		収穫期			果実重 (g)	硬度 (kg)	糖度 (° Brix)	果汁 pH
		満開	始	盛	終					
モモ福島20号	3ヶ年	-	8/16	-	8/22	446	2.17	17.3	4.5	
	2025	4/16	8/25	8/29	9/2	358	2.37	17.8	4.7	
川中島白桃	3ヶ年	4/11	8/13	8/16	8/20	381	2.64	14.2	4.4	
	2025	4/19	8/21	8/27	9/1	365	2.76	16.7	4.5	

注) 3ヶ年は2022～2024年の平均値。2022～2023年は温暖化等の影響で収穫期が大幅に前進した。

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和3～7年度
- (2) 研究課題名 個性豊かな県オリジナル果樹品種の育成、福島県産農産物競争力強化事業(研究)

5 主な参考文献・資料 なし